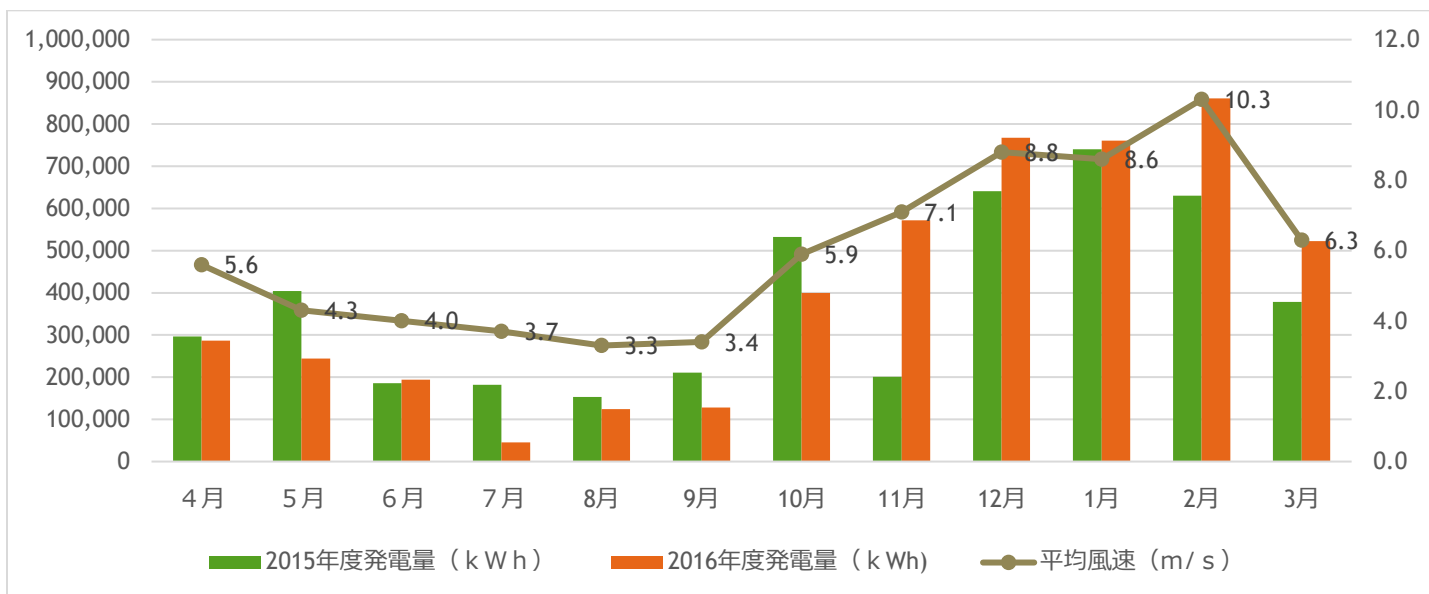


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 西村明子

## ● 発電実績



3月も風況に恵まれ順調に発電しています。

- グリーンファンド秋田今月の予定  
にかほ市と生活クラブ、GF 秋田との連携推進協議会(にかほ市)
- にかほ市近辺のイベント  
勢至公園『桜まつり』期間 4月8日(土)～23日(日)  
鳥海ブルーライン開通式 4月28日(金)

勢至公園はにかほ市金浦地区にあり市民の憩いの場として親しまれています。観音瀧の周囲 1km に枝を広げた桜並木は見所の1つ。県内で最も早く桜の花を楽しめる散策スポットとして人気を集めています。

鳥海ブルーラインは日本海海岸から鳥海山5合目まで延びる、景観抜群の道路です。5月～6月に新緑、7月中旬～8月上旬に高山植物、10月に一面の紅葉が見られます。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	286,904	5.6	20.0
5月	243,884	4.3	16.5
6月	193,900	4.0	13.5
7月	45,130	3.7	3.1
8月	124,507	3.3	8.4
9月	128,479	3.4	9.0
10月	399,343	5.9	27.0
11月	571,908	7.1	39.9
12月	767,309	8.8	51.8
1月	760,667	8.6	51.4
2月	860,820	10.3	64.4
3月	522,754	6.3	35.3

## 自然エネルギーを道具に持続可能な地域社会づくりをすすめよう。

生活クラブ風車・夢風は今年3月にちょうど稼働丸5年となりました。振り返るとトラブルもありましたが順調に稼働し更に「にかほ市」との地域間連携の取り組みも広がり都市と地方の連携のもう一つのあり方として内外からの評価もいただいていることは大変嬉しいです。夢風ブランド生産者連絡会のみなさんとの夢風ブランド品の共同開発、夢風の土地を借用している芹田自治会、営農組合による生活クラブトマトケチャップ用の加工用トマト栽培へのチャレンジ、生活クラブ豆乳用の大豆の栽培など、まだささやかですが面的な連携が広がってきています。



半澤彰浩代表理事

今国会では、私たちのこれからの暮らしに影響を与える重要法案が目白押しです。いわゆる現在の治安維持法と言われている犯罪を計画段階で処罰する「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案も大変な問題ですが、残念ながら可決してしまった「種子法」の廃止は危険です。農水省は23主要農産物の種子を管理する法律を廃止することを衆議院の委員会で可決され参議院でも可決してしまいました。同法の廃止は国民の基礎的食料である米、麦、大豆の種子を国が守るという政策を放棄するもので、種子の供給不安、外資系企業の参入による種子の支配などの懸念が広がります。廃止は規制改革推進会議が発端でありアメリカとのFTA協定にむけた法案整備の一環と捉えられ、その狙いは国内の「農業潰し」「農協潰し」に他なりません。種子法が廃止されれば米の遺伝子組み換え種子や多国籍企業の種子に席卷されてしまう危険もあります。民営化を目的とした「水道法の改定」にばかり、この国はこのままいくと霞が関がすべて決め自治体が完全に従属する国になってしまうのではないかと危惧します。

一方で近代以降の世界における覇権主義、覇権国家・近代世界システム自体が終焉を迎え変容していく大転換の時代とも言われています。それはGDPに変わる「豊かさ」の指標の見直しなど経済成長だけでなく価値、1つの覇権国家があるという「近代」の枠組みそのものが変容していく時代ということです。グローバル経済が先にあって国家、地域に降りてくるのではなくローカル(地域)から出発して環境や福祉も経済も循環するしくみをつくり、それをナショナル、グローバルが補うという社会が2100年に向かってめざすべき姿ではないかと思います。国家ではなくローカル(地域)から協同組合やNPO、NGO、企業など多様な主体が活躍し、人々が参加できる小さな組織から上に積み上げていく構想を広げていきたい。世界ではそうしたチャレンジと実践がたくさん出現しています。地域でそうしたことを実現していく用具として地域の資源である「自然エネルギー

ギー」を活用し地域社会をつくっていくことも広がっています。持続可能な地域社会を創造していく、今、生まれた子どもや孫が生きる社会をおおぜいの参加と試み、実践を通じて創出していきましょう。

一般社団法人グリーンファンド秋田 代表理事 半澤彰浩

## 2016 年度発電実績

2016 年度の生活クラブ風車「夢風」の稼働率は過去最高の結果で、それに伴い年間発電量も前年比 107.7%となりました。春から夏季の風況は平年並みか低めで発電量も低くなりましたが、風況の良い冬季に順調に発電したことから前年を上回る発電量となりました。

- 年間発電量は 4,905,605kWh の実績となり、前年 4,555,589kWh に対して 107.7%、計画 4,731,400kWh に対して 103.7%となりました。
- 平均風速は 5.9m/s の実績で、前年 5.8m/s に対し、101.7%でした。
- 稼働率は 93.3%の実績で、前年 91.4%に対し 102.0%でした。
- 設備利用率は 28.4%の実績で、前年 26.1%に対し 108.8%でした。



## 「はたはたおいる漬け」もうすぐデビューです。

生活クラブ神奈川の夢風ブランド開発実行委員会は、6 月のはたはたおいる漬けデビューに向けて、企画書の内容のチェック、取組計画や配付するニュースづくり、組合員活動に向けた活用提案など大詰めの話し合いが重ねられました。



思った以上にいける！と参加者に好評だった『はたはたおいる丼』試食の様子

組合員に公募したラベルデザインの作品から最終選考会を行い、かわさきの組合員の中川さんの作品に決定しました。小さなラベルの中にハタハタが元気よく飛び跳ね、はたはたおいる漬けにこだわったみんなの思いと、にかほ市と、私たち組合員をつなぐ風車「夢風」があしらわれたデザインです。利用提案のためにレシピ



公募ラベルのはたはたおいる漬け

もたくさん検討しました。その中でも一番のおすすめは、『はたはたおいる井』です。熱々ご飯にはたはたおいる漬けを数切れのせ、トッピングはオカカ、粉チーズ、醤油を少々、ポイントはおいる漬けのオイルを井にかけていただくこと。ハタハタのうま味がしみこんだオイルがご飯とベストマッチ、やみつきになること間違いナシです。発表会の時には「地味?!」というウワサもありましたが、おかわり希望者が続出しました。

そのまま食べるのはもちろん、パスタやピザの具、オードブルやマリネなどの様々な工夫が楽しめるので組合員のみなさんがきっと活用してくれることでしょう。また、カルシウムやDHA・EPAなどの栄養価も高く、お子さんでも食べやすいよう小骨を取り除き加工されています。我が家の猫たちは、ビンを開けると良い匂いがするらしく鼻をヒクヒクさせて近寄ってきます。猫たちに襲われないように注意が必要ですね。

神奈川・湘南生活クラブ生協理事 加藤恭子

## グリーンファンド秋田ってどこにあるの？ 何をしているの？

一社)グリーンファンド秋田は、東京・神奈川・埼玉・千葉の生活クラブが協同して建設した生活クラブ風車「夢風」の事業目的法人(SPC)です。社員は、生活クラブ首都圏4単協とNPO法人北海道グリーンファンド、(株)市民風力発電の6者です。風力発電の運営・管理、自然エネルギーの普及開発、省エネルギー推進の普及開発、メンテナンス業務、自然エネルギーの電源開発などを主な事業としています。



グリーンファンド秋田では省エネ講座の講師を担当したときなどに生活クラブの皆さんから「秋田からいらっしゃったのですか？」とよく聞かれます。生活クラブ風車「夢風」が秋田県にかほ市にあることは周知されてきているようですが、「グリーンファンド秋田」が、どこで何をしているのかイメージがつきにくいようです。

グリーンファンド秋田の東京オフィスは中央区日本橋人形町にあります。ちなみに、生活クラブの電力会社の(株)生活クラブエナジーの事務所と同じフロアにあります。

風車に何かトラブルがあった時には、メンテナンスを委託している(株)市民風力発電がすぐに対応し、運転が順調にいくように管理しています。風車は風を受けて発電するシンプルな仕組みのように見えますが、「風車は人が動かす」と言われるくらい、様々な人の手が加わって電気を起こしているのです。

## 紙面リニューアルしました。

生活クラブ風車「夢風」は、建設から丸5年を迎えました。夢風ニュースも58号を数え、今月号から紙面を少しリニューアルしました。今年度は、グリーンファンド秋田の理事をはじめ、にかほ市の方や北海道グリーンファンドの方にも執筆をお願いし、風車夢風や風力発電について様々なニュースをお伝えできるようにしたいと考えております。ご意見ご感想がありましたら是非お聞かせください。